

科目名	国語科教育法Ⅳ	
担当者	山崎 桂子 / YAMASAKI, Keiko	
科目情報	教職専門科目 / 選択 / 後期 / 講義・演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	中・高等学校の国語に於ける現代文（文学作品）と古文の指導法を学ぶ。
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 学習指導要領を理解する。 2) 教材分析ができるようになる。 3) 教材としての文学作品の扱い方を知る。 4) 古文の文法・語彙など指導者としての知識を身につける。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) ガイダンス (2) 講義（谷川俊太郎「二十億光年の孤独」） (3) 講義（魯迅「故郷」） (4) // (5) 演習 ①（ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」） (6) 演習 ②（太宰治「走れメロス」） (7) 演習 ③（芥川龍之介「羅生門」） (8) 講義（古文の基礎知識） (9) 講義（文語文法） (10) 講義（「かぐや姫」） (11) // (12) 演習 ①（土佐日記「門出」） (13) 演習 ②（宇治拾遺物語「絵仏師良秀」） (14) 演習 ③（沙石集「児の知恵」） (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の作品を前もって読んでおく。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておく。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・演習で指摘された不備・問題点を解決する。 ・作品に関連した知識や情報を調べて更に理解を深める。
使用教材・参考文献	<p>【教】プリントを配布する。</p> <p>【参】「中学校学習指導要領解説・国語編」「高等学校学習指導要領解説・国語編」（文部科学省）</p>	
成績評価方法と基準	<p>〈基準〉教材を作者、大意・主題、構成と構成図、解釈と解説の各観点から分析し、資料としてまとめることができれば合格とする。</p> <p>〈方法〉演習（60点）、レポート（30点）、受講態度（10点）</p>	
備考	国語科教育法Ⅲを併せて履修することが望ましい。	